

地域歴史遺産と現代社会

奥村 弘・村井良介・木村修二／編

平成30年1月発売

地域づくりの基礎知識 1

地域の歴史や文化を社会的に活用するにはどうすればいいのか—いま日本各地で取り組まれている大きな課題でもある。神戸大学では、阪神・淡路大震災を契機に歴史資料の保全や、自治体・地域団体とともに地域の歴史と文化を守り育てる活動を実践してきた。本書はその具体例を示しながら、魅力ある「地域」と「ひと」を創り出すヒントを紹介していく。

●内容の一部

歴史と文化を活かした地域づくりと地域歴史遺産／地域史と自治体史編纂事業／埋蔵文化財と地域／歴史的町並み保存の「真実性」について／近代の歴史的建築物と地域／民俗文化と地域—但馬地域の事例を中心に— / 地域文書館の機能と役割



A5判・282ページ 定価 2,484 円(税込)

「地域づくりの基礎知識」 シリーズ 今後の刊行予定

- 2 子育て支援と高齢者福祉
- 3 自然と環境 (仮題)
- 4 安全安心な地域社会 (仮題)
- 5 イノベーション (仮題)

発行：神戸大学出版会

発売：神戸新聞総合出版センター

地域づくりの基礎知識 1

地域歴史遺産と現代社会

奥村 弘・村井良介・木村修二／編

平成30年 1 月発売

目 次

「歴史文化を活かした地域づくり」を深める	……………奥村 弘
第1章 歴史と文化を活かした地域づくりと地域歴史遺産	……………奥村 弘
第2章 地域歴史遺産という考え方	……………村井良介
第3章 地域史と自治体史編纂事業	……………村井良介
コラム 大字誌の取り組み	……………前田結城
第4章 古文書の可能性	……………木村修二
コラム 古文書を活用するまで	……………木村修二
第5章 「今」を遺す, 「未来」へ伝える —災害アーカイブを手がかりに—	……………佐々木和子
第6章 埋蔵文化財と地域	……………森岡秀人
第7章 歴史的町並み保存の「真実性」について	……………黒田龍二
コラム 草津の近代遊郭建築 寿楼 (滋賀県草津市)	……………黒田龍二
第8章 近代の歴史的建造物と地域	……………田中康弘
コラム ヘリテージマネージャーの育成と活動	……………村上裕道
第9章 民俗文化と地域 —但馬地域の事例を中心に—	……………大江 篤
第10章 地域博物館論	……………古市 晃
コラム 小野市立好古館の地域展の取り組み	……………坂江 涉
第11章 地域文書館の機能と役割	……………辻川 敦
第12章 大規模自然災害から地域史料を守り抜く —過去・現在, そして未来へ—	……………河野未央
コラム 水濡れ資料の吸水乾燥方法	……………河野未央
第13章 「在野のアーキビスト」論と地域歴史遺産	……………大国正美
第14章 連携事業の意義 —成功例と失敗例から—	……………市沢 哲
コラム 地域連携活動の課題	……………井上 舞
コラム 大学と地域 —神戸工業専門学校化学工業科の設置—	……………河島 真